

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/12/16号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

レンジ上抜け後インフレ懸念で下落

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



先週は結構な動きがあった一週間となりました。週末に突然のシリア・アサド政権の崩壊そして5月以来の中国人民銀行のゴールド買いの再開の確認といった材料により、その前のしばらく続いた2620-2650ドルのレンジを上をブレイクしました。上昇は木曜日まで続き一時2725ドルまでほぼ100ドルの上昇となりました。重要な経済指標である水曜日の米CPIはほぼマーケットの予想通りの数字となり、ゴールドは上昇となりましたが、翌日PPIは、インフレ傾向を指し示すものとなり、FRBの今後の金利下げプロセスに黄信号が灯る結果となりました。それにより、ゴールドには一転売りが強くなり、金曜日その売りが続いて、最終的なマーケットの一週間の引けは前週のレンジの天井2650ドルを少し割り込むレベルである2648ドルで終わりとなりました。今週の12月FOMCでの0.25%の利下げはほぼ確実ですが、この下がらないインフレ率に対して、来年の利下げ継続への疑問が大きくなって来ています。各銀行の見方も来年は1回や2回、もしくは利下げはもうない、というものが増えてきました。それを占う上でも今週のFOMCでの政策金利発表後のパウエル議長の記者会見での議長の発言、そしてその姿勢が重要なゴールドの相場材料となります。もしパウエル議長がタカ派的で今後の利下げに関して慎重な態度を示せばゴールドの売り材料となり、2600ドルへの下落もあり得るでしょう。逆に経済への自信を示せばゴールドにとっては買いの材料となるでしょう。そうなれば2650ドルは新たなレンジの底値となり、ふたたび2700ドルへの上昇となるでしょう。短期的にはそれがゴールドの方向を決めそうです。しかしもし下がるケースとなればそこはまた買いのチャンスとなると考えます。超長期でのゴールドの上昇は通貨の価値の低減を考えると避けられないことであり、ポートフォリオにゴールドを加えるチャンスとなるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

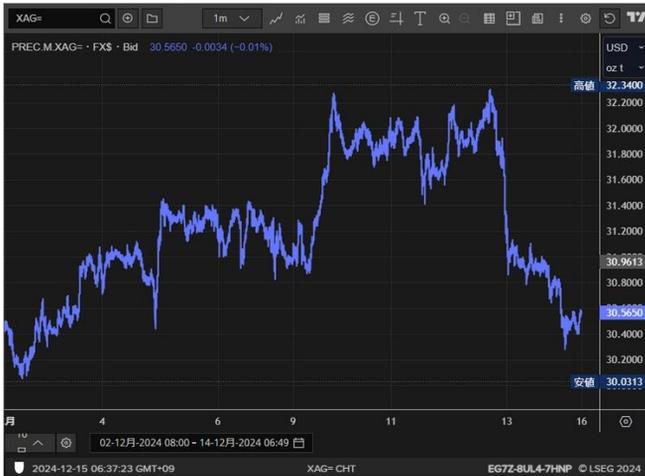
【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

ゴールドが上がって下ってそれでも週初より上がって終わったのに対してシルバーも上がって下って終わりましたが、週初より下げて終わりました。典型的なシルバーの高いボラティリティーがそのままこの動きに出ていると思います。前週とは逆に上値が重く、注目は30ドルのサポートを維持できるかどうか、というマーケットになりました。

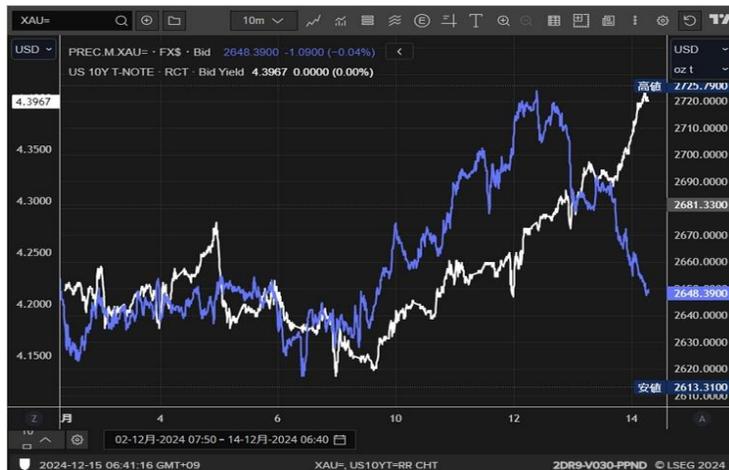


Gold ETF残高とゴールド価格

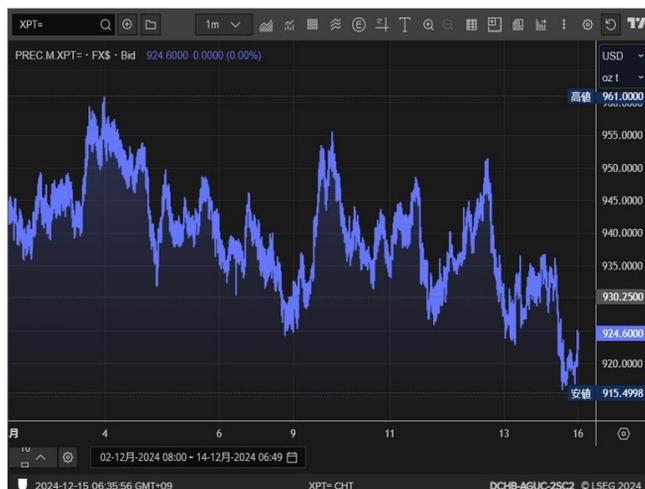


「プラチナの現状」

パラジウムも900ドル-1000ドルレンジでの動きが続きます。900ドル前半にいけば買いたところ。900ドル割れは鉱山会社の生産コストを考えれば下値リスクは限られると考えます。



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで